

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	岐阜聖徳学園大学		設置者名	学校法人 聖徳学園				
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成25年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
教育学部	学校教育課程	250人	幼一種免	平成21年度	325人	319人	54人	253人
			小一種免	平成21年度			318人	
			中一種免(国語)	平成21年度			53人	
			中一種免(社会)	平成21年度			59人	
			中一種免(数学)	平成21年度			56人	
			中一種免(理科)	平成21年度			28人	
			中一種免(音楽)	平成21年度			15人	
			中一種免(保健体育)	平成21年度			42人	
			中一種免(英語)	平成21年度			32人	
			高一種免(国語)	平成21年度			38人	
			高一種免(地理歴史)	平成21年度			39人	
			高一種免(公民)	平成21年度			25人	
			高一種免(数学)	平成21年度			52人	
			高一種免(理科)	平成21年度			24人	
			高一種免(音楽)	平成21年度			15人	
			高一種免(保健体育)	平成21年度			41人	
			高一種免(英語)	平成21年度			29人	
	学校心理課程	50人	幼一種免	平成19年度	61人	42人	6人	41人
			小一種免	平成19年度			42人	
外国語学部	外国語学科	150人	中一種免(英語)	平成14年度	112人	33人	33人	27人
			中一種免(中国語)	平成14年度			0人	
			高一種免(英語)	平成14年度			33人	
			高一種免(中国語)	平成14年度			0人	
経済情報学部	経済情報学科	200人	高一種免(商業)	平成11年度	148人	8人	2人	1人
			高一種免(情報)	平成13年度			8人	
入学定員合計		650人	合計		646人	402人	1,044人	322人

岐阜聖徳学園大学・岐阜聖徳学園大学短期大学部

大学名		岐阜聖徳学園大学(大学院)			設置者名		学校法人 聖徳学園		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況(平成25年度)				
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数	
						実数	個別		
国際文化研究科	国際教育文化専攻	15人	幼専免	平成10年度	1人	1人	0人	0人	
			小専免	平成10年度			1人		
			中専免(国語)	平成10年度			0人		
			中専免(社会)	平成10年度			0人		
			中専免(数学)	平成10年度			1人		
			中専免(音楽)	平成10年度			0人		
			高専免(国語)	平成10年度			0人		
			高専免(地理歴史)	平成10年度			0人		
			高専免(公民)	平成10年度			0人		
			高専免(数学)	平成10年度			1人		
			高専免(音楽)	平成10年度			0人		
	国際地域文化専攻	10人	中専免(英語)	平成10年度	3人	2人	2人	2人	
			高専免(英語)	平成10年度			2人		
経済情報研究科	経済情報専攻	10人	高専免(商業)	平成17年度	2人	0人	0人	0人	
			高専免(情報)	平成14年度			0人		
入学定員合計		35人	合計		6人	3人	7人	2人	

大学名		岐阜聖徳学園大学短期大学部			設置者名		学校法人 聖徳学園		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況(平成25年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数	
						実数	個別		
	幼児教育学科第一部	100人	幼二種免	平成12年度	84人	80人	80人	20人	
	幼児教育学科第三部	50人	幼二種免	平成12年度	55人	46人	46人	7人	
	生活学科生活学専攻	70人	中二種免(保健)	平成12年度	18人	17人	3人	4人	
			養教二種免	平成12年度			17人		
生活学科食物栄養専攻	50人	栄教二種免	平成17年度	28人	5人	5人	0人		
入学定員合計		270人	合計		185人	148人	151人	31人	
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成26年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。								

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成26年7月10日（木）

実地視察大学：岐阜聖徳学園大学・岐阜聖徳学園大学短期大学部

実地視察委員：宮崎英憲委員、和泉研二委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。
- 入学者数及び入学定員数について、「7.」で指摘するように、教員養成の質の担保の観点からは是正すべき点が確認されたため、対応すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教員養成に対する理念・構成は示されており、その実現のための教育課程等もおおむね基準を満たしていると言える。教職課程や教員組織がより一層充実したものになるよう、今後も努めていただきたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 大学、短期大学部ともに一部科目において教育実習後に設定されているものがあるため、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の各科目について開設時期を検討すること。
- 「教職に関する科目」について、教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「各科目に含めることが必要な事項」が含まれているか否か、シラバスからは判断できない授業科目や、科目の趣旨に照らして適切でないと見受けられる授業科目があるため、法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに、科目の趣旨に照らして適切な授業内容となるように内容を再度検討すること。全学的に連携し、シラバスの記載内容及び記載方針を定め、法令に定める「各科目に含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認出来るようにすること。

3. 教育実習の取組状況

- 教育学部、短期大学部においては近隣の学校に教育実習先を確保しており、組織的に充実した教育実習体制を敷いている点は非常に評価できる。
- 外国語学部、経済情報学部、短期大学部の中学校の教職課程においては学生の母校において実習されている状況が確認された。教育実習は、大学による教育実習

の指導体制や評価の客観性の観点から、学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。地元教育委員会や学校との連携を進め、近隣の学校における実習先の確保に努めていただきたい。

- やむを得ず遠隔地における教育実習を行う場合においても、大学が実習先の学校と連携し教育実習に関わる体制を構築し、県内県外にかかわらずに巡回指導を行うなど、実習先の学校と連携し、大学が教育実習に関わる体制を構築し、学生への適切な指導、公正な評価となるように努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 各学年で半期ごとにオリエンテーションを実施している他、各教員、教育実習課で個別指導を実施しているなど、教職指導体制が確立されている点は評価できる。
- 就職指導においても、就職課で半期ごとにオリエンテーションを実施している他に教員採用試験に関する各種講座も実施されているなど、手厚い支援が行われている点は評価できる。
- 「教育実践科学研究センター」において、定期的な研修会を実施し、卒業生も含めた教育技術向上の仕組み作りがなされており、引き続き、当該取り組みを推進・充実させることを期待する。
- 教職指導は、就職指導のみならず、学生が教職について理解を深め、教職への適正について考察するとともに、各科目の履修等を通して、主体的に教員として必要な資質能力を統合・形成していくことができるように、教職課程の全体を通じて、大学が計画的・組織的に指導する必要がある。このことを踏まえ、履修カルテを有効活用する仕組みについても、今後御検討いただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 近隣24市町と協定を結び、教育実習の他に、学校ボランティアやインターンシップの受け入れ体制ができていると説明があった。引き続き、当該取り組みの推進・充実を図っていただきたい。さらに、外国語学部、経済情報学部、短期大学部の中学校の教職課程の受け入れ先の確保の観点でも、連携を進めることを期待する。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 図書館については、設備・図書ともに、全般的に充実しており、環境は良く整備されているように見受けられた。特に、「教科書コレクション室」を設置するなど、教職関連図書の分類、質、量ともに大変充実していた。
- ICT 関連施設、理科実験室、音楽実習室など、施設についても整備・充実している状況が確認された。

7. その他特記事項

- 入学者数が入学定員を大幅に超過している状況が確認された。教職課程における専任教員数については入学定員数に応じて定めているため、教員養成の質の担保の観点から適正な規模となるよう検討すること。